

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【にほん語ボランティア実践研修】

受託団体名 特定非営利活動法人国際交流の会とよなか(TIFA)

1 事業の趣旨・目的

地域の日本語教室をよりニーズに合ったものにし、ボランティアのスキルアップを図る。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月10日	グローバ ルとよなか	葛西道生 村上自子 石墨方子 上田万里子 葛西美紗	今年度のボ ランティア 実践研修の 内容につい て	ボランティア達の要望を受けて、指導 するときに、悩んでいることを解決で きるスキル、学習者への対応の仕方な ど、ボランティアたちに役立つことを 実施する。今年度の計画を個々に説明 し、承認された。
9月 5日	グ ロー バ ルとよなか	石墨方子 上田万里子 葛西道生 葛西美紗	実 践 研 修 の 中 間 報 告 と 今 後 に 向 け て	地域日本語ボランティアのあるべき姿 について。学習者の立場、生活状況な どをよく理解して、寄り添う心、相手 の立場に立った日本語を学習してもら うことが大切。研修者の要望を受けて、 後半は技術的な研修も入れたら？とい う意見が出た。
12月7日	とよなか国 際 交 流 セ ンター	葛西道生 石墨方子 上田万里子 村 上 自 子 葛西美紗	研 修 終 了 報 告 と 来 年 度 にむけて	今年度の実践研修の参加状況、感想な どはおおむね好評。学習者の立場を理 解して、彼らに役立つ指導の大切さを 学べた事はよかったが、技術的な研修 の要望もあったので、次年度は初歩者 への指導技術を学ぶ研修会を増やした いという意見が出た。

【写真】

運営委員会報告書添付

3 日本語教室の開催について

- ① 講座名 TIFA 日本語ボランティア実践研修
- ② 開催場所 とよなか国際交流センター、くらしかん、グローバルとよなか
- ③ 学習目標 地域の日本語教室をよりニーズに合ったものにし、ボランティアのスキルアップを図る。

④ 使用した教材・リソース

各教室・ボランティア・教授者から紹介された教材

「生活の漢字」、「にほんごこれだけ」、「にほんご宝船」、「なっとく・知っとく
初級文型20」、「日本語の漢字」等

⑤ 受講者の募集方法

地域の日本語教室・日本語ボランティアへ広報

添付:ちらし 3枚

⑥ 受講者の総数 29 人

(出身・国籍別内訳)

スリランカ 1人, 中国 1人, インドネシア 1人 韓国 1人 日本 25人

(7) 開催時間数 37・5時間 (全18回)

講義 25・5 時間 (12 回)、実習 12 時間 (6 回)

(8) 参加対象者の要件

地域の日本語教室のボランティアとして活動している人

(9) 講座内容

	開講日時	時間数	受講者数	講座名・学習内容	講師
1	平成23年5月16日 14:00~16:00	2時間	24人	講座:研修内容についての 要望を聞く	ロクガマゲ・サ マンティカ
2	平成23年6月13日 14:00~16:30	2時間半	25人	講座:生活者目線の漢字学 習を考えよう	ウー・ワイシェ ン
3	平成23年6月27日 14:00~16:30	2時間半	25人	講座:あなたを知り、私を知 る	石橋由紀子
4	平成23年9月7日 10:00~12:00	2時間	20人	講座:学習者をどうサポート するか?	サマンティカ・ ロクガマゲ
5	平成23年9月14日 10:00~12:00	2時間	20人	実習	サマンティカ・ ロクガマゲ
6	平成23年9月16日 14:00~16:00	2時間	19人	講座:日本語指導で大切な こと一相手を理解しよう	サマンティカ・ ロクガマゲ

7	平成 23 年9月21日 10:00～12:00	2時間	21 人	実践研修・・実習	サマンティカ・ ロクガマゲ
8	平成 23 年9月28日 10:00～12:00	2時間	19 人	実践研修・・実習	サマンティカ・ ロクガマゲ
9	平成 23 年9月30日 14:00～16:00	2時間	20 人	講座:日本語教育の変遷と 現状将来の日本語教育	神田 靖子
10	平成 23 年10月5日 10:00～12:00	2時間	21 人	実践研修・・実習	サマンティカ・ ロクガマゲ
11	平成 23 年10月12日 10:00～12:00	2時間	19 人	実践研修・・実習	サマンティカ・ ロクガマゲ
12	平成 23 年10月21日 14:00～16:00	2時間	23 人	講座:にほんご指導の基礎自信を 持って学習者と向き合うために～	安田 乙世
13	平成 23 年11月7日 14:00～16:30	2時間半	21 人	講座:外国語としての日本語	泉原 省二
14	平成 23 年11月 16 日 10:00～12:00	2時間	19 人	講座:日本語指導で大切な ことー相手を理解しようⅡ	サマンティカ・ ロクガマゲ
15	平成 23 年11月25日 10:00～12:00	2時間	18 人	講座:にほんご指導の基礎 Part2～日本語*国語どう違う?	安田 乙世
16	平成 23 年12月2日 19:00～21:00	2時間	18 人	講座:交流型日本語学習の 成果	石墨 方子
17	平成 23 年12月 7 日 10:00～12:00	2時間	15 人	実践研修・・実習	サマンティカ・ ロクガマゲ
18	平成23年12月14日 15:30～17:30	2時間	26 人	講座:漢字教育の体系化と 漢字学習	西口 光一

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

- * 不安を持ちながら教えていたので、大変役立った。
- * 学習者の状況を良く理解して相手をするのが大切であることを、改めて学んだ。
- * 出身国による指導のポイントを知ることができた。
- * 他の事業と重なって出席できない講座があったのは残念だった。
- * 漢字の指導方法を学べたのはよかった。
- * このような学べる場があってありがたかった。来年も続けてほしい。

② 実施主体からの研修内容結果評価

- * 講座の希望日時がいろいろで、設定が難しかった。
- * 受講者のニーズをとらえ、講師との事前打ち合わせにより、受講者の要望に合った研修ができたと思う。
- * 地域の日本語教室のボランティアにとって、有意義で役立つ事業になったと思う。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- * 地域の日本語教室をより充実させ、取り残されている外国人への支援を広げていく。
- * 日本語ボランティアが自信を持って指導し、学習者ができるだけ早く社会で活躍できるようにする。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

- * とよなか国際交流センターの日本語講座と連携
とよなか国際交流センターで実施している「とよなかにほんご」「日本語交流サロン」「ナイト漢字クラス」のボランティアの人たちと、学んだことをもとに、より学習者のニーズに合った指導方法について情報を交換している。
- * 大阪大学留学生センターの活動に協力
留学生センターの日本語クラスの補助者として活動。
留学生相談室で、留学生へ日本語の個別指導
- * TIFA 多文化子育てサロンと連携
「子育てサロン」へ参加している母子へ日本語学習を勧め、指導をはじめた。
- * 学校現場教師との連携
渡日生徒を引き受けている教師と話し合って、指導を手伝った。

② 研修後の人材活用

日本語教室の人材確保

新規開設した日本語教室や、既設の教室の人材を補うため、研修に参加したボランティアを紹介。

渡日生徒の指導者へ

小学校・中学校現場・放課後の指導者として活動している。

(12) 今後の課題

日本語ボランティアは日本語指導の能力だけでなく、学習者の立場を理解し、ニーズをつかむ力が大切で、この力をつけるには、国際理解・国際交流など幅広い経験が必要になるので、地域の国際交流ボランティアとしての活動と協働して進めていく。

講座参考写真

